



～全日本ユース(U-18)選手権関西大会～

関西2冠(高校・ユース大会)達成

ユース大会で全国初出場

JOCジュニアオリンピックカップ第14回全日本女子ユース(U-18)選手権大会関西予選大会は、10月30日、31日滋賀県水口スポーツの森、11月6日堺ナショナルトレーニングセンターで行われ大阪桐蔭高校が初の優勝を果たし全国大会出場を決めた。1回戦は高田FC(奈良)に8-0、準決勝でエルバイレ(兵庫)に7-1と共に大勝、八幡商業(滋賀)を破り決勝に進出した京都精華にも4-0で勝利し、見事初の関西大会優勝を手に入れた。負ければ3年生が引退というなか、チームが気持ちをひとつにして戦い抜き、全国へと道をつないだ。

大阪桐蔭は6月の高校選手権関西大会優勝に続き今季2冠を達成した。なお、全国大会は1月3日から熊本県で行われる。

◇1回戦(10月30日、水口スポーツの森)40分ハーフ(カッコは前半のスコア)

大阪桐蔭高校 8-0(4-0)高田FC(奈良)

【得失点】9分草野、15分金井、23分小川、28分濱本、45分、50分金井、54分、63分濱本

前半9分の早い時間帯に草野が先制点を奪った。そこから大阪桐蔭ペースになり前半4点、後半4点、8-0と大量得点することができた。高田FCは個人技術が高い選手が多かったが、それを抑えて勝利できたことで全国出場という目標に、一歩近づくことができた。

◇準決勝(10月31日、水口スポーツの森)

大阪桐蔭高校 7-1(4-0)エルバイレ(兵庫)

【得失点】7分金井、20分草野、26分松井、39分吉田、52分失点、69分、74分濱本、78分松川

立ち上がりから積極的に攻撃をしかけた大阪桐蔭は、前半7分、20分と相手のGKが飛び出したところをうまくつり出した金井の見事なゴールと草野の難しいシュートで流れをつかんだ。さらにキャプテン松井がセンターサークル付近からのフリーキックを直接決めるスーパープレーを魅せ、攻撃を勢いづけた。後半に入ると、少し相手に攻め込まれる時間帯が続い

た。1失点したものの後半も攻撃の勢いはとどまらず、計27本のシュートを放ち勝利を飾った。パスサッカーの相手に対してしっかりと戦術を立て、自分達のペースで試合運びができたことが勝利の鍵になったと思う。順調に関西大会決勝へと駒を進めた。

◇決勝(11月6日、堺NTC)45分ハーフ

大阪桐蔭高校 4-0(2-0)京都精華

【得失点】10分草野、21分、吉田、49分濱本、74分吉田

勝てば念願の関西大会優勝、そして全国大会への切符をつかむことができる。立ち上がりは相手チームの猛攻にあい、なかなかペースを掴めなかった。しかし、その攻撃に必死の守備で守りきりうまく流れをつかんだ。前半10分、草野の蹴ったコーナーキックが直接ゴールに入り先制。流れを完璧につかむ重要な得点となった。そのあとも追加点をあげ、2-0で前半終了。後半に入ってもペースを崩すことなく、さらに追加点を2点あげ勝利をつかんだ。

90分間という長い時間ではあったが、チームとしてうまくペース配分をし、組織

力で相手を上回ることができた。そしてなによりチーム一丸となって戦い、目標の全国大会に出場することができたことをとても誇りに思う。たくさんの方々の応援が私たちの力となった。その感謝の気持ちを忘れず全国の舞台でも全力を尽くし、良い結果を残したい。

親子バーベQ大会

保護者会が開催するバーベキュー大会が10月3日信太山青少年野外活動センターで行われた。普段あまり話すことのない人同士も、この場をきっかけに親交を深めた。毎年行われる各学年の出し物では、1年生はダンス、2年生は劇、そして3年生は『団結』をテーマにソーラン節を披露し場を盛り上げた。最後には選手全員から親に感謝の気持ちを込めてフラを踊った。選手は、自分たちが毎日サッカーをできることに改めて感謝し、親の大切さを感じる事ができた。このバーベキュー大会は、全国大会出場に向けてスタッフ・選手・保護者を含めた全員が一致団結する良い機会となった。

フラレッスン

9月28日フラ(ダンス)指導の菅原先生が山形から来てくださった。毎年恒例の「君は愛されるために生まれた」を踊った。この曲は自分を愛すること、自分を支えてくれる全ての人に感謝の愛を捧げるという気持ちがこめられていて、チームの応援歌でもある。今回は「パーリーシェール」という新曲にも挑戦した。この曲は、真珠の貝殻がテーマの恋愛ソングでみんな楽しく踊った。このような貴重な体験ができたことに感謝し嬉しく思う。

体育祭

10月1日になみはやドームで体育祭が行われた。この体育祭はⅢ類生と一般生が一緒に行う唯一の行事。学年対抗で3年生が優勝した。次の日は、中学の体育祭運営を手伝った。各種目をスムーズに進めるのは簡単なことではなかったが、一人ひとりが常に先のことを考えて行動するということを学んだ。

表彰式後の記念写真(堺ナショナルトレーニングセンター)

